

## 令和6年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和7年4月26日

団体所在地 広島市安佐南区祇園 8-4-2-12  
団体の名称 認定こども園くすの木祇園  
職・氏名 副園長 山口美里

### 1 活動報告

#### 【4月～6月】(春季)

##### (活動内容)

- ・お庭のベリー摘み(ジューンベリー、マルベリー、ヤマモモ)
- ・草笛あそび
- ・親子フィールドビンゴ
- ・うめシロップづくり
- ・しそジュースづくり
- ・さつまいもの苗植え

#### 【7月～9月】(夏季)

##### (活動内容)

- ・染め物
- ・どろんこあそび

#### 【10月～12月】(秋季)

##### (活動内容)

- ・お庭づくり(木整ボビンの研磨と塗装を保護者様と共に)
- ・腐葉土作り
- ・木登り
- ・いもほりとスウィートポテトづくり
- ・山あそび
- ・クリスマススワッグづくり

#### 【1月～3月】(冬季)

##### (活動内容)

- ・とんど
- ・武田山登山
- ・ブルーベリーの植樹
- ・お散歩中いただいたパセリを給食に

## 活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

### 【4月～6月】

（写真）



#### （エピソード記述）

しそシロップづくり

色水遊びに熱中していた幼児ひだまりのお部屋

例年、この時期に梅仕事として梅シロップ作りをしているのですが、今年は色の変化を楽しめるのではとスタッフが話し合いしそシロップ作りに挑戦することに。色が変わることは子ども達には内緒です。子どもたちと作り方や材料を調べるところから始めます。

砂糖は何を使うか？

お買い物はいつどこにいくか？

お部屋で大人と子どもが話し合って決めました。

クッキングでは、赤紫蘇を茎からちぎると一気にお部屋にしその香りがひろがり「うわぁ?!」と歓声が上がります。お鍋の湯に赤紫蘇を入れて煮込むとしその葉の色が紫から緑に変わりお湯は濃い紫に。さらにそこに酢を入れると鮮やかな赤紫に変わります。色の変化のたびに驚いたり「色が移ったんじゃない?」「薄くなったのかな」と考察する年長児の姿がみられました。

出来上がったシロップは適度に薄めてしそジュースで味わいました。

その後お庭に青紫蘇と赤紫蘇がささやかに生えていることに気付きスタッフに興奮して教えてくれました。「これがあるから来年も作れるね!」と。

### 【7月～9月】



#### （エピソード記述）

草木染め

幼児せせらぎのお部屋のお兄さんお姉さんが夢中になっている絵本「カブトくん」への関心が高まっていた1歳つちのお部屋のこどもたち。

【いっしょ】が嬉しいつちのこどもたちがいつも抱っこで一緒にいれるカブトくんを軍手で作ることをスタッフが計画しました。白い軍手をカブトくん色にするため、栗のイガやどんぐりやシャブシをお散歩で集めます。

1 豆乳処理

2 天日干し

3 染色液作り

4 染

5 ミウバンでの色止め

【自分で】の気持ちが膨らんできた1歳後半?2歳のこどもたち、全ての工程の最初から最後までに参加。豆乳につけて揉んだり、物干しに干したり、染色液の入ったお鍋に漬けたり、自分の手を使って活動に参加しました。

身近なものから抽出された染色液の色 染色液の土のような香りなど目で見ても鼻で感じた草木染め。

その後、完成したミニカブトくんとつちのこどもたちはおさんぽもお昼寝も一緒です。お庭では土や枯れ葉をバケツに入れて水をそそぎ染め物ごっこをして遊ぶ姿もみられました。

## 【10月～12月】



### (エピソード記述)

#### クリスマススワッグづくり

待降節の期間 毎日アドベントカレンダーをめくりクリスマスの訪れを心待ちにする文化がくすの木にあります。カレンダーをめくるとお部屋の仲間の写真があり「今日は〇〇ちゃんの日だね」喜び合います。

街にクリスマス飾りが見え始めた頃スタッフの一人がクリスマススワッグをお部屋に飾りました。お散歩の際にたくさん集めた山の恵みから活動が広がったら・・・というスタッフの仕掛けです。

「これ何?」「クリスマスの飾りにしようと思って持ってきたんだ」

「いいね!これお散歩で集めたものでも作れそうじゃない?」

「緑の葉っぱもいるんじゃない?」

幼児こもれびの子どもたちは秋の山あそびの際に収集した山のめぐみたち(木の実、蔓 枝)と新たに山で集めたヤツデ スギ カニクサなど植物を組み合わせ、一人ひとりスワッグを作りました。選び取る 組み合わせる 束ねて縛るそのプロセスを、試行錯誤し楽しめるようゆとりある活動期間を設けたり、少しずつ活動に合わせて素材を提供することで、活動の後半に取り組む子どもも選び取る楽しさを感じられるよう配慮します。

色の組み合わせや自分がひろい集めた素材にこだわる子うまく縛れず苦戦し仲間に教えてもらう子出来上がったスワッグはアドベントカレンダーから自分が出てきた日にお部屋に飾りつけその後はお家でも楽しんでいただきました。

## 【1月～3月】

### (写真)



### (エピソード記述) 武田山登山

当園は武田山のおもとにあり、武田山周辺は日常の遊び場です。登山口周辺は乳児さんもお散歩コースとなっています。秋が深まりはじめ体力も気力も高まった時期に「もっと奥まで行ってみたい」という思いに応え幼児3クラスが山に分け入っていききました。どんぐり、くり、南天、ヤシャブシ…山の恵みを持って落ち葉だらけで帰ってくる日々。「もっともっと奥にいきたい」「頂上ってどんな景色なんだろう」思いは高まりますが「馬返し」「御門跡」など銀山城の遺構があるあたりは勾配も強く給食までに帰ってくるには険しい道のりです。「にじさん(年長児)にみてきてもらおう」ということに。「任せて!」と張り切る子、自信無さそうな子。託されたにじさん思いはさまざまでした。山登りに向けて子どもたちのミーティングもはじめました。準備するもの、山の上で食べるお昼ご飯のメニュー、山登りの時の約束、山を登るとき作戦などなど、準備は進みとうとう当日。20人の年長児と4名のスタッフで出発しました。話し合いの時少し自信なさそうな様子だったHくんもみんなと一緒にのぼっていたところ、ムードメーカーのTくんが「どうぞ」「早く行ってください」と歩いている仲間を応援し始めました。それをきいたHくんが「早くって言わないで!」と感情を爆発させました。Hくんの様子を驚くTくん。決して遅いから早く行つてと言っていたのではないこと周りの仲間はわかっていました。仲間たちがHくんの気持ちに寄り添いTくんの思いを伝えHくんの気持ちが落ち着くのを待ってくれました。スタッフがこれからの道のりをどう歩いたらいいか考えようと提案しました。歩くペースがそれぞれ違うのをどうしたらいいか?早く1番に登るのがいい?山登りって競争なの?でも足が早くうごいちゃう…じゃあ…ゆっくりな人に列の先頭を歩いてももらった?そうしてみよう。そう決めて山のぼり再開です。急斜面も岩場も登り切り山頂へ立ったにじさん。眼下には自分たちの街が広がりこれから入学する小学校が数校見えたそうです。そして山頂で食べた手作り味噌玉のお味噌汁は格別だったようです。山登りを通して山という自然環境の中で過ごす経験と共に仲間の存在や仲間の中の自分を感じながらやり切った達成感を感じてもらいたいと願っていたスタッフ。危機管理に留意しながら先回りしすぎないことにも心を配ってきました。Hくんは「武田山登山が一番たのしかった」そう言って卒園し、あの日山頂から見えた小学校の1年生になりました。

## 2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

お庭の環境づくり（グランドカバーを植える、落ち葉で腐葉土を作るなど）を園庭整備の時間に体験を通して学ぶ機会をもつ（毎月）

山に入る時の留意点の共有（活動の進め方 服装 虫生物の知識）（随時）

- ・ 地域との関わりについて

お散歩中に地域の方より畑の野菜（大根 パセリなど）をいただき給食のメニューに加える（随時）

- ・ 保護者との関わりについて

お庭整備

砂場道具棚（木製）の作成とテーブル（木製ボビン）のやすりがけ オスモカラーの塗布（10月）

参加保育でフィールドビンゴ（5月）

- ・ その他

\*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

|       |                                                                                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| U R L | <a href="https://www.facebook.com/profile.php?id=100063464681288">https://www.facebook.com/profile.php?id=100063464681288</a> |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|